

令和4年度（深沢高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	日常行動における職員個々の意識を高め、公務外非行の発生を未然に防止する。	4月に行政文書事務、9月に服務規程について、それぞれ不祥事防止研修を行った。チェックシートによる自己診断の実施をした後、担当職員による注意喚起を行った。チェックシートを回収し、職員の意識の再確認を促した。 【目標は達成できた】
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権に配慮した適切な研修会等を開催して、教職員個々のハラスメントに対する理解及び認識を深め、ハラスメント行為を未然に防止する。	5月及び6月にセクハラについて、2月にパワハラについて月例の不祥事防止研修で「事故防止メッセージリレー」を発表し、全職員一人ひとりの行動の自覚を促した。 また1月にアンケート調査を行い、職場全体の認識を鈍らせないようにした。年間をとおして、互いに心を通い合わせる職場環境の保持に努めることができた。 【目標は達成できた】
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	教職員個々のわいせつ・セクハラ行為に対する理解及び認識を深めるため、適切な研修会等を開催して人権に配慮した意識を高め、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	頭では分かっていると思っていることでも、研修をとおして人権意識について再認識した。7月と1月に生徒へのアンケート調査等を行い、無自覚の誤った行動がないように確認することができた。 【目標は達成できた】
体罰、暴言等の不適切指導の未然防止	生徒の人権に配慮した適切な生徒指導を行い、体罰や不適切指導を未然に防止する。	8月に人権及び体罰について全職員対象に研修を行った。特に教職経験の少ない教職員への体罰禁止の注意喚起に意を払い、同時に全職員の意識向上を図ることができた。 日常的な会話も穏やかであるよう、良い学校の雰囲気組織で継続することができた。 【目標は達成できた】
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類等の作成及び取扱いに係る事故未然防止	正確で公正な選抜業務遂行や成績処理を行う。また、関係書類の発行に係る適正な事務処理を徹底する。	年度当初から3学年及びキャリアグループ、学習支援グループが調査書作成・発行に係る組織的な業務態勢をつくり、慎重に業務を遂行できた。 2月の研修では入学者選抜に係る事故防止について取り上げ、事故の皆無をめざした。特に、追試験の会場が校内になったことで、在校生の授業と並行して入学者選抜業務を実施することについて、業務内容の変更点を確認し合うなどして、無事故で業務を終えることができた。 【目標は達成できた】

個人情報管理・情報セキュリティ対策	朝の打合せや職員会議等を活用した管理職による個人情報管理に関する意識啓発を行い、教職員の個人情報管理の意識を向上させて、紛失・漏洩等の未然防止を図る。さらに、情報セキュリティ対策を講じて、情報を漏洩防止の対策を徹底させる。	4月に文書の取扱いについて、10月に個人情報について研修し、職員の意識啓発を行うと共に、個人情報管理等の意識を向上させ、紛失・漏洩等の未然防止を図った。しかし、冬休み中の12月27日に、通知表の誤配付が発生した。個人情報の漏洩に至った重篤な事案であったと反省し、再発防止に向けて、校内マニュアルを改定した。 定期試験や成績処理の期間は、校内のシュレッダーの使用を停止することで、個人情報の滅失防止に取り組んだ。 メッセージリレーの実践等、繰り返しセキュリティ対策について伝える工夫をした。 【目標の達成まで至らなかった】
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転未然防止、交通法規の順守	酒酔い・酒気帯び運転の厳禁をはじめ、交通事故全般にわたり事故の発生を未然に防止する。	歳末が近くなった11月に集中して飲酒運転撲滅に係る不祥事防止会議と研修を行った。12月には飲酒運転に限らず交通事故全般にわたる注意喚起を行い、事故の発生を未然に防止した。 【目標は達成できた】
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務執行に係る共通理解・共通認識を深め、業務執行体制に係る事故の発生を未然に防止する。	4月初めに「風通しのよい職場づくり」をメッセージにして掲げ、年間を通して業務執行体制づくりに取り組んだ。人員配置が手薄であると思われた場面では管理職からの声掛けや教職員相互の補完によって事故の発生を未然に防止した。 【目標は達成できた】
財務事務等の適正執行	県費、私費で公正な予算編成と適正な執行を行い、事故を未然に防止する。	4月に行政事務について、9月に物品の適切な管理について、10月に旅費の取扱いについて研修を行った。複数で伝票や備品の管理確認を行う重要性を再確認するなど、不正のない適正な執行を見届け、事故ゼロを達成した。 【目標は達成できた】

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

昨年度2月から、コンプライアンス委員会に変えて立ち上げた不祥事防止会議を原則週一回で実施し、校内における懸案要素を洗い出して対応策や解決策を講じている。同時に、コンプライアンス委員会で行っていた月ごとのテーマによる事故・不祥事防止メッセージ作成も継承し実施してきた。このメッセージ作成は、不祥事防止会議のメンバーがリレー方式で作成し、月一回の不祥事防止研修の場で全教職員に伝え、職員室や事務室に掲示している。例えば「ハラスメント防止」をテーマとした7月は、「嫌そうじゃないから、いや、そうじゃないから。」、2月の入学者選抜業務の際には「入学者選抜 君の努力に事故ゼロで答える。」など、時宜に応じた内容で作成者が解説し、全教職員が共通認識をもって不祥事防止に取り組むための指標となり、各テーマにおいて一定の目標達成は果たせている。

こうした取り組みを通じて、教職員同士が積極的に事故・不祥事防止に努める環境づくりを推進してきた中で、今年度は個人情報管理において個人情報の漏洩事案が発生してしまった。直ちに全教職員で情報を共有し注意喚起を行うとともに、校内マニュアルを改定して再発の防止に努める決意を新たにしている。令和5年度は、まずこの個人情報管理における事故防止を重点課題として取り組みを継続実施していく。